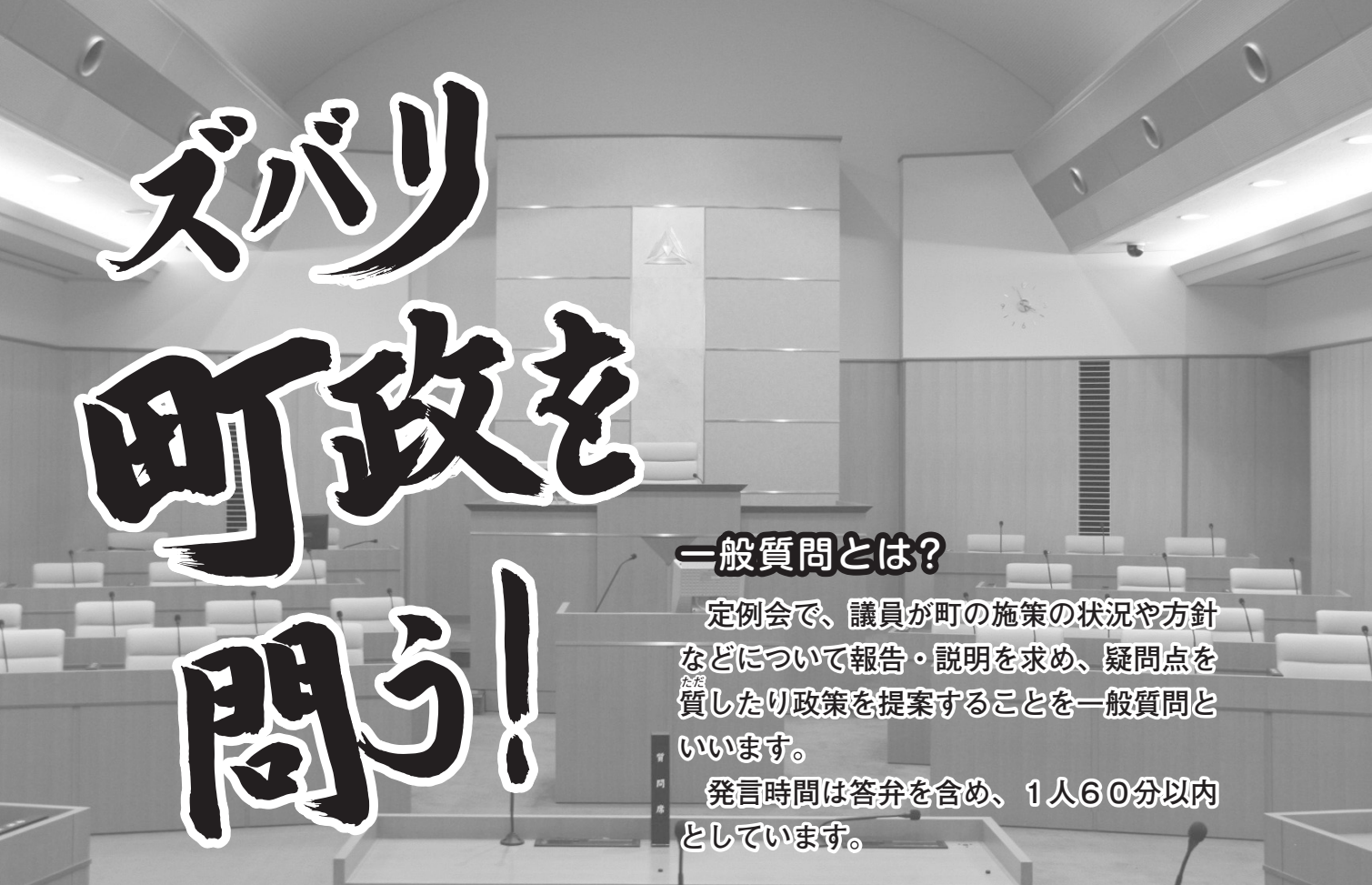




一般質問とは？

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点を質したり政策を提案することを一般質問と^{ただ}いいます。

発言時間は答弁を含め、1人60分以内としています。

ページ	質問者	質問事項
9	藤本 健太 議員	1. 防災・減災に対する備えは 2. 子ども議会開催は
10	中島 数宜 議員	1. 家庭用防犯カメラ設置に伴う補助金は ^{とんしよ} 2. 消防屯所の維持管理の現状は
11	世良 将生 議員	1. 熊野町の人口の推移と対策は 2. 安全・安心まちづくり事業補助金とは
12	大瀬戸 宏樹 議員 水原 耕一 議員	1. 待機児童と保育現場の現状と課題、その施策は 1. 災害対策の進捗状況は
13	沖田 ゆかり 議員	1. 大原ハイツ避難路隣接町有地の整備を 2. 女性支援の充実を

※紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。
また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。
なお、熊野町議会のホームページ(<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>)から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。

Q 防災・減災に対する備えは

A 町長

まち全体が協働し、災害に強いまちづくりをめざしている。



藤本 健太 議員

【Q1】

本町の土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の件数、対策は。

【A1】

土砂災害警戒区域が268箇所、土砂災害特別警戒区域が232箇所。

対策は、ハザードマップでの確認、早目の避難の呼びかけを行っている。

また、砂防堰堤を38基、急傾斜地崩壊対策施設を5カ所整備している。

【Q2】

今後のハード面における対策は。

【A2】

平成30年7月豪雨災害で土石流が発生した13溪流を対象に砂防堰堤の整備が進んでおり、今年度中に工事が完了する予定。

【Q3】

公助の取組は。

【A3】

地域防災体制の整備、職員の研修機会の確保、防災関係機関との連携、災害に関する正確な情報収集と迅速かつ正確な伝達に取り組んでいる。

【Q4】

今後の逆線引き（都市計画で定める区域区分を、市街化区域から市街化調整区域に変更すること）の取組は。

【A4】

土地所有者の理解を得ることが望ましいため、広報紙やホームページで取組の周知を行い、必要に応じて地元説明会や公聴会を実施するなど取り組んでいく。

Q 子ども議会開催は

A 教育長

早期開催に向けて学校と調整を行う。

【Q1】

先進事例などの調査は。

【A1】

全国の地方議会子ども議会が開催されており、近隣では呉市、廿日市市、海田町で開催されている。

【Q2】

教育委員会として子ども議会開催の意義はどのように考えているか。

【A2】

児童生徒が考えや思いを表現する場であり、学習の動機づけと考える。また、まちづくりや町の未来について考えることができ、政治や地方政治への関心も高まると思われる。

保護者なども含め、町民に議場での活動を傍聴、ネット視聴してもらい、議会や行政の取組

を身近なものに感じてもらうこともできる。

【Q3】

本町で子ども議会を開催する場合、どのような形態で行う予定なのか。

【A3】

発表形式、質問形式、提案形式などがあるが、いずれにしても児童生徒が学習した内容について、発表・表現できる場として開催できるよう調整を図っていく。

【Q4】

子ども議会をどのような教育につなげていくのか。

【A4】

学校で実際に学んだことを児童生徒の視点、言葉でふるさと熊野をより良くし発表を行うことで本町への愛情、誇りをさらに醸成するものに結びつけていく。